

長岡地区租税教育推進協議会 会長賞 優秀

恵まれた日本

長岡市立山本中学校

三年 長谷川 莉杏

蛇口をひねれば水が出る。きつと皆さんの家庭もそうでしょう。お風呂や手洗い場、トイレで必ず水を使ってしまうところがある。私たちの家族は五人家族だ。一人あたり、たくさんの水を使う場面が多々ある。一人、一日水を使う量は、二〇〇から三〇〇Lだという。そうすると、私達の家庭は、一〇〇〇から一五〇〇Lを使っていることになる。では世界中で水を人々は皆当たり前のように安全な水を使えているのか。

私は気になり世界中の水のことについて、調べてみた。安全な水道水を飲める国が、日本、フィンランド、オーストリア、ニュージーランドなど、全部で九カ国しかないというのだ。世界はこんなに広いのに、たった九カ国しかないのかと、とても驚いた。そして皆さんが気になっているであろう安全に水が飲めない人々の数は、二十二億人もいるのだ。特にアフリカ地方では、やむを得ず不衛生で汚れた水を使ってしまう、二〇一七年の調査によると、年間で約三十万人、毎日八百人以上の乳幼児が、汚れた水の原因とする下痢症で命を落としているそうだ。さらに、その水を飲むために、

家から水汲み場まで、平均して一日に八時間以上を水汲みを必要とする子どもも存在しているそうだ。そう考えると私達は、今、水道水をたくさん安全に飲めていることはとても幸せであることだと感じた。それは、ほぼ税金で成り立っているということだ。以前まで、私は、水に税金が使われていると知らず、そもそも税金がどのように使われているのかも知らなかった。そんな私は税金は、あつたほうがいいのかと疑問に思っていた。だが、以前に社会の授業で見た、税金の動画で知ることになった。その動画は、税金がなくなると、どうなるのかというテーマだった。それを見ると、道路は、ボロボロ、救急車はお金がかかる、学費が高く、学校に通えない子が増えるなど、大変なことになっていた。やはり、税金がないと、水の他にもたくさん困ることがあるんだと考えさせられ、私達の生活にとって、とても欠かせないものなんだと思った。今では、「税金があるおかげで」と考えれば、今の私達がいると考えられるようになった。

私は、日本はとても優れていると感じた。税金の制度が整っていて、私達を使う公共施設も皆が平等に誰にでも使える。そして、当然のように安全な水が飲めている。私は以前まで、税金のありがたみを感じてはいなかった。だから、私が今しないといけないことは、税金で賄われている学校で、毎日使う教科書や椅子や机など、他にも税金は使われているが、特に、身の回りの税金にたくさん感謝をしながら暮らしていくことがすごく大切だと感じた。